



悩める古典



❖ 歌舞伎や文楽の演目を中心に ❖

【講師】

木ノ下裕一



©東直子

木ノ下歌舞伎主宰

1985年和歌山市生まれ。

小学校3年生の時、上方落語を聞き衝撃を受けると同時に独学で落語を始め、その後、古典芸能への関心を広げつつ現代の舞台芸術を学ぶ。2006年に古典演目上演の補綴・監修を自らが行う木ノ下歌舞伎を旗揚げ。代表作に『娘道成寺』『黒塚』『東海道四谷怪談一通し上演』『義経千本桜一渡海屋・大物浦一』『糸井版撰州合邦辻』など。2016年に上演した『勤進帳』の成果に対して、平成28年度文化庁芸術祭新人賞を受賞。第38回(令和元年度)京都府文化賞奨励賞受賞。渋谷・コクーン歌舞伎『切られの与三』(2018)の補綴、NHK ラジオ第2『おしゃべりな古典教室』のパーソナリティーを務めるなど多岐にわたって活躍中。2024年からはまつもと市民芸術館(長野)の芸術監督団長を務めている。

仕事、恋愛、家族、人間関係、老い……私たちの周りにあるその悩み、実は昔の物語にもたくさん出てきます。

古典を知り尽くす木ノ下さんが、現代の様々な「悩み」にリンクする古典演目を紹介します。

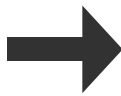
百年以上前に生まれた物語が、今を生きる私たちにそと寄り添ってくれるかもしれません。

歌舞伎や文楽の知識はいりません。少し変わった視点から、古典の世界を紐解いてみませんか？

🍄 お悩み募集中 🍄

当日取り上げる演目はみなさまから寄せられたお悩みを元を選びます。ぜひお悩みをお寄せください

右のQRコードから入力、または裏面の専用用紙に記入してご提出ください。



令和7年9月14日(日) 13:30~16:30

会場: 可児市文化創造センターala 映像シアター 未就学児入場不可

チケット: 7月19日(土)9:00発売 | 全席指定 1,000円



文化庁

文化庁文化芸術振興補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



▼ チケット取り扱い

可児市文化創造センターala・インフォメーション
〒509-0203 岐阜県可児市下恵土 3433-139

Tel.0574-60-3050

9:00-19:00 火曜休館 / 祝日の場合は開館・翌平日休み

▼ お問い合わせ

可児市文化創造センター *ala*

〒509-0203 岐阜県可児市下恵土 3433-139

URL <https://www.kpac.or.jp> TEL.0574-60-3311

9:00-22:30 火曜休館 / 祝日の場合は開館・翌平日休み

▼ 公演ウェブサイト

